

第37回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日 時 平成29年7月19日（水） 18時35分～20時10分

2 会 場 千城台公民館

3 出席者

- (1) 委 員 21人 *委任欠席 1人（時松委員⇒委任：佐々木委員）
*代理出席 2人（村上委員⇒代理：神谷氏）
（木俣委員の代理として菅野氏が途中まで出席）
- (2) 事務局 4人 *教育委員会 企画課 伊原課長、塚田主査、川島管理主事、吉田主任主事
- (3) 傍聴者 15人

4 報告・議題

- (1) 【報告1】地元代表協議会における主な協議概要
- (2) 【報告2】平成29年度児童生徒数推計
- (3) 【報告3】前回協議会以降の動き
- (4) 【議題1】千城台南小学校と千城台旭小学校の2校連絡会について
- (5) 【議題2】千城台北小学校と千城台西小学校の2校連絡会について
- (6) 【議題3】次回開催日時・場所について

5 会議資料

- (1) 平成29年度千城台地区学校適正配置地元代表協議会委員名簿
- (2) 資料1：「協議の進め方と主な協議概要」及び「地元代表協議会だより第8号」
- (3) 資料2：「平成29年度児童生徒数推計」
- (4) 資料3：「2校連絡会〔千城台北小学校と千城台西小学校〕等の概要（報告）」
- (5) 資料4：「2校連絡会〔千城台南小学校と千城台旭小学校〕等の概要（報告）」
- (6) 添付提案資料：「千城台南小学校と千城台旭小学校との統合に関する要望書（案）」
- (7) 参考資料：「千城台北小学校・千城台西小学校」関連資料
- (8) 参考資料：「千城台南小学校・千城台旭小学校」関連資料
- (9) 参考資料：「平成29年度千城台地区小学校に在籍する児童の居住分布状況」

6 議事の概要

- (1) 平成29年度協議会委員の確認
「平成29年度千城台地区学校適正配置地元代表協議会委員」について確認・承認され、教育委員会ホームページで公開することとした。
- (2) 【報告1】地元代表協議会における主な協議概要
事務局が資料1を基に、これまでの協議状況について説明した。
- (3) 【報告2】平成29年度児童生徒数推計
事務局が資料2を基に、29年度に算出した児童生徒数推計による小・中学校の状況について説明した。

(4) 【報告 3】 前回協議会以降の動き

6月17日に南小PTAの要請により学校適正配置（統合）に関する説明会を、6月24日に旭小PTAの要請により学校適正配置（統合）に関する説明会を開催した。

(5) 【議題 1】 南小と旭小の2校連絡会から、統合に関する要望書（案）について

南小と旭小の2校連絡会から提案された「統合に関する要望書（案）」については、原案のとおりとすることで合意された。

(6) 【議題 2】 北小と西小の2校連絡会について

北小と西小の2校連絡会の運営状況をもとに協議を行い、主に方向性を決する方法等について意見交換がなされ、2校連絡会での話し合いの継続が確認された。

(7) 【議題 3】 次回開催日時・場所について

次回の協議会（分科会）を9月27日（水）に開催することとし、11月から12月を目安に協議会（全体会）を開催することが確認された。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶（角田会長）

この協議会は平成22年2月に発足してから8年目に入った。平成26年4月に会長を務めてから3年になるが、就任して初めての全体会で旭小と南小、北小と西小の組み合わせで統合を検討し、東小が残ることとなった。その間、委員改選や各学校のPTA代表等の交代もあったが、皆さんの思いは同じ方向に向かっていると思う。平成28年度から2校連絡会を立ち上げて、両校の見学等交流を図っているところである。そのおかげで、今年の3月の全体会において南小と旭小の統合については、旭小を統合校の設置場所とするという合意が得られたところである。この決定については、両校のPTA役員の尽力によるものであり、改めて御礼申し上げる。西小と北小については、今後も引き続き2校連絡会を重ねていただき、できるだけ良い結果が出るような方向で協議を進めてもらいたい。

本日は、両校の経過報告もあるので、いろいろな意見が出ると思うが、同じ方向を向いての意見なので、協議をよろしくお願いいたします。

(2) 教育委員会挨拶（伊原企画課長）

平成22年の第1回協議会から数えて37回目の協議会となり、角田会長、菅原副会長、山崎副会長を始め、協議会の皆様には長期間にわたり子どもたちのために尽力いただき感謝を申し上げます。また、本日は多くの傍聴者の方にご参加いただき、感謝申し上げます。

委員の皆様には、大変お忙しい中、お集まり頂き、お礼を申し上げます。新年度の役員改選に伴い、協議会委員の皆様方の顔ぶれも変わったが、各団体の代表として様々な角度から議論をお願いしたいと考えている。

引き続き、協議会の皆様による真摯な協議と充実した議論をよろしくお願いいたします。

(3) 報 告

報告① 協議の進め方と主な協議概要

〈事務局〉 資料1「協議の進め方と主な協議概要」をご覧ください。

- ・平成22年2月から協議を開始し、8年目となった。
- ・第30回協議会（7月13日）では、小学校統合について具体的に協議。現行の中学校区を前提とした小学校の統合を検討し、「東小を単独で残し、北小と西小、南小と旭小をそれぞれ統合する」ことで合意された。
- ・第32回協議会（3月9日）では、議論を進めていくためのあくまで案として、協議会会長案が提示された。
- ・第33回協議会（7月6日）では、予定時間を超えての積極的な協議がなされ、新しい学校をつくっていくという視点が育まれた。
- ・第34回協議会（9月7日）の分科会では、統合の組合せ校同士の話し合いの場（2校連絡会）を設置し、協議を進めることとし、併せて、児童同士の交流の推進について学校に依頼することで合意された。
- ・第35回協議会（12月14日）の全体会では、各2校連絡会での協議状況について情報を共有し、その中で、2校連絡会での合意を最大限尊重することとした。
- ・各2校連絡会では、個別の打合せ、話し合いや相互の学校視察を重ね、協議を深めた。とりわけ、南小と旭小の2校連絡会では、統合校の設置場所の最終的な決定を協議会（全体会）にお願いすることとした。
- ・それを受け、第36回協議会（3月1日）の全体会では、まず決定方法についての合意がなされ、説明・協議・投票を経て、統合校の設置場所を現在の千城台旭小学校とすることで合意された。
- ・昨年度の主な協議概要を地域の方々にお知らせするため「協議会だより第8号」を配布・回覧した。
- ・これまでの協議・協議方法を踏まえての話し合いをお願いする。

〈菅原議長〉 ただ今の報告で、質問がある方はお願いします。

〈委員一同〉 質問等なし

報告② 平成29年度児童生徒数推計

〈菅原議長〉 「平成29年度児童生徒数推計」について、事務局から報告をお願いします。

〈事務局〉 資料2をご覧ください。

- ・資料2は、例年お示ししている児童生徒数推計の平成29年度版であり、住民基本台帳上の人口に、入学率や開発予定を加味して算出している。
- ・昨年度と傾向は変わっていないが、西小の現状については、これまでの想定と異なっているため、数値の算出方法について現在精査中である。

〈菅原議長〉 質問等はあるか。

〈委員一同〉 質問等なし

報告③ 前回協議会（全体会）以降の動き

- 〈事務局〉
- ・先月6月17日に南小PTAの要請により学校適正配置(統合)に関する説明会を、6月24日に旭小PTAの要請により学校適正配置(統合)に関する説明会を開催した。
 - ・「地元代表協議会だより（第8号）」を4月下旬に地域の小中学校、幼稚園・保育所等に配布するとともに、各自治会で回覧をお願いした。

- ・引き続き、北小と西小、南小と旭小で、2校連絡会等を開催している。
- 〈菅原議長〉 各団体からの報告に移る。まず、2校連絡会以外で、前回3月の第36回協議会以降に協議報告のある団体はあるか。
- 〈自治会関係〉 特になし。
- 〈学校評議員関係〉 特になし。
- 〈東小・両中学PTA〉 特になし。
- 〈菅原議長〉 特にないのであれば、2校連絡会からの報告に移る。
- 〈村山委員〉 「資料3」にあるとおり、5月27日北小運動会の後に西小と2校連絡会を開催した。役員も新任され挨拶的なものとなった。南小と旭小が統合について結論が出たところであり、北小と西小も結論を出すためにどうしたらよいかという内容で協議の場を持っている。
- 〈木俣委員〉 5月27日の2校連絡会は顔合わせ程度で終わった。西小では7月最初にPTA主催の適正配置説明会を開催した。7月後半から8月にかけて、事務局である教育委員会に来てもらい、西小PTA本部と適正配置の話し合いを行う予定である。
- 〈鈴木努委員〉 南小と旭小の2校連絡会では、5月26日に、南小PTA役員が3人、旭小PTA役員が4人参加し、統合新設校である花見川小学校の視察を行った。また、6月27日にも南小で2校連絡会を行っている。少しずつはあるが、子どもたちのためにより良い学校としたいとの思いから、話し合いの場を持っている。
- 〈菅原議長〉 各校への質問等は、本日の協議内容と関わるので早速、協議に入る。

(4) 協 議

- 〈菅原議長〉 本日の議題は3点である。1つ目は南小と旭小の2校連絡会から統合に関する要望書(案)について、2つ目は北小と西小の2校連絡会について、3つ目は次回の開催日時・場所等についてである。まず、事務局から説明をお願いします。
- 〈事務局〉
- ・報告(1)のとおり、第36回協議会において、統合校の設置場所を現在の千城台旭小学校とすることで合意している。まず、議題(1)として、「統合に関する要望書(案)」の内容についてご確認をいただき、協議を進めたい。なお、第35回協議会で2校連絡会の意見を最大限尊重することで合意されていることを踏まえ、南小と旭小では協議を重ねて「統合に関する要望書(案)」を作成していることを申し添える。
 - ・議題(2)として、北小と西小の2校連絡会についてもご意見をいただきたい。これまで提示してきた資料の集約版、内容を更新した資料を参考資料として添付している。
 - ・最後に、次回の開催日時等を確認させていただきたい。

議題① 南小と旭小の2校連絡会から、統合に関する要望書(案)について

- 〈菅原議長〉 それでは「統合に関する要望書(案)」について協議する。
南小と旭小の2校連絡会から提案をお願いします。
- 〈神谷氏〉 6月27日に南小と旭小の2校連絡会において、「南小と旭小の統合に関する要望書(案)」を作成した。過去の統合に際して、各地元代表協議会が教育委員会に提出した要望書を参考にし、教育委員会とも事前協議の上作成したものである。特に、項目1(2)の今回の統合は「居ながら施工」となることから、工事をする校舎で学習することになる旭小の子どもたちの安全や振動・騒音に十分留意すること、2(3)統合に

より通学路が変更となる現南小学校の子どもの安全対策を考慮すること、5の跡施設活用として地元の要望に配慮し有効活用を検討することという文言を加えた。

〈菅原議長〉

ご意見等があれば願います。

〈片岡委員〉

統合時期が4年後の平成33年4月となっている根拠はなにか。

〈事務局〉

配付した資料「千城台南小学校・千城台旭小学校に係る参考資料」に最短スケジュールとして提示している。過去にお示ししたスケジュールを更新して提示したものである。本年度は、要望書の確認・提出によって本格的な統合準備に入り、予算の確保を進めることになる。平成30年度は、耐震が終わってない校舎があることから、耐震を含めた計画設計期間となる。平成31・32年と2年間をかけて耐震工事と改修工事とをあわせて行う。2年間かかる理由は、校舎が2棟あることから、片方に1年ずつとなっている。

〈阪下委員〉

跡施設について、南小が廃校になった後、避難所がどこになるのか心配する声がある。跡施設活用については地元の声を聴いて欲しいので、一文入れるのは良いと思う。

〈菅原議長〉

特に他に意見等がないようなので、統合に関する要望書は（案）のとおりでよい。

〈委員一同〉

意義なし。

〈菅原議長〉

意義がないようなので、統合に関する要望書の（案）を削除する。

〈角田会長〉

統合に関する要望書に合意がされたが、提出等今後の手続きはどうなるか。

〈事務局〉

要望書を提出する日程を調整し、正副会長に連絡させていただく。

〈石原委員〉

要望書提出後に、要望に対する回答や要望内容に関する説明はあるのか。

〈事務局〉

要望書については、正副会長から直接、教育長に手渡し頂くことを予定している。内容については、回答するものではなく、内容を最大限尊重して今後の統合準備を進めていくものである。内容は教育委員会全体として共有していく。

〈石原委員〉

教室の一部を大きくしてくださいと書いてあるのは、南小と旭小で話し合ったものだと思うが、こういう風によくなりますよというフィードバックがないと、こうしてくださいといっただけで終わってしまうのではないかと心配。

〈角田会長〉

まだ、南小と旭小が協議を続ける中、今回の内容は大きな項目であって、実際に設計に入る前の段階で、詳細な意見を出す時期があると認識している。

〈石原委員〉

教室や人員配置の拡充など具体的な説明がないと、できあがって見たらこんな感じでしめて終わってしまうのではないかと心配である。キャッチボールがどうあるのか気になる。

〈事務局〉

ご心配のとおりだと思う。この後、正式に統合準備会が設置され、学校の教職員や複数のPTA関係者がメンバーとなる。工事担当の学校施設課、教員配置担当の教育職員課、教育指導課等の関係課も加わるので、意見を聞きながら、進捗報告などを行っていく。

〈片岡委員〉

平成33年4月開校予定とあるが、同時期から跡地は利用できるのか。

〈事務局〉

これまでの他地区の事例でいうと、「統合に関する要望書」の提出後に跡地活用について地域の皆様に協議いただき、「跡施設活用に関する要望書」として別途提出いただいている。本市では、学校統廃合後の結果としてできる跡施設活用については、千葉市資産経営基本方針に基づき、中長期的な視点から、人口や世代の年齢構成、周辺施設の立地状況、地域の声等を総合的に勘案し、千葉市資産経営部を中心に全庁横断的に検討している。南小については、これから3年半はまだ現状の学校として教育活動が行われるので、その点を踏まえながら対応を相談させていただくこととなる。

- 〈片岡委員〉 自治会館がないので、統廃合の話があったときから、学校の空き教室または廃校となった校舎を活用したいという希望をもっていた。跡地の利用は、統合校開校の33年4月以後ということでしょうか。
- 〈事務局〉 一般的に、4月に統合校が開校し、すぐ活用されている事例は少ない。跡施設利用方針が決定するまでの間は、近くの中学校在体育館などを暫定使用するなどしている例もある。正式に決定するのは資産経営課であり、地元の要望を踏まえ、別途、跡施設利用に関する説明会等が実施される。そういった中で、地元の理解を得ながら利用方針を定めることとなるが、1～2年の間は協議が続くこともある。

議題② 北小・西小の2校連絡会について

- 〈菅原議長〉 つづけて、北小と西小の2校連絡会についてご意見があればお願いします。
- 〈高野委員〉 北小と西小は方向性を出すために、話し合いを続けているとあるが、どんなことを話し合って、いつまでに何をやるかという具体的な報告がないが、何故できないのか。
- 〈村山委員〉 北小の考えを述べると、南小と旭小の結論がようやく出た。自分自身も役員になり、3年目になるが、あと何年もお付き合いできるわけではない。できれば、自分の在任中に一定の方向性は出したいと考えている。ただ、役員交代があり、議論が後戻りすることもある。北小としては、南小と旭小が決まったので、今年一年間でなんとか結論を出そうということで、PTAの内部の体制を整えている。2校連絡会を実施しているが、現時点では、どう先に進めるかというのは厳しい。西小の考えもあると思う。
- 〈富澤委員〉 北小と西小の意向が伝わってこない。「北小をどうしても残したい」とか、「西小をどうしても残したい」というような考えもわからない。2校がどういう話をしているかわからないが、こちらに全然伝わってこない。今年度中に結論を出したいのであれば、北小と西小がどうしたいのかをしっかりとってもらい、それに向かってどのように進めていくか、南小と旭小のような決め方にするのか、別のやり方にするのかを協議してかないと、またこの1年がうやむやで終わってしまうのではないかと思います。
- 〈木俣委員〉 西小としては、北小と意見交換会を行ってきたが、富澤委員のご指摘のとおり、結論から言うと、北小と西小の両方が自分の学校を残したいので、話し合いが難航して決着がつけられなかった。南小と旭小で合意がなされたことを踏まえて、そろそろ決着をつけたいという思いもお互いにあり、焦りもある。富澤委員の話であつたとおり、今年度で決着がつけられればいいかなという状況である。恥ずかしながら、今こういう風にしたいというものをお互いははっきり言えるものは、正直ない。特に西小の場合は、新しい保護者の意見を聞きながら、PTAとしての今後の方針を考えていきたい。西小としては、子どものためになるべく早くいい学校をつくるように努力していきたいと思っている。
- 〈村山委員〉 西小は新しい役員になって意見を吸い上げているというような話があつたが、北小は、前回の2校連絡会でも言ったが、今年度1年間は「どう決めるのか」という話し合いの場を持つという提案を常にしている。「内容（どちらが設置場所としてよいか）」については8年間協議を積み重ねてきても新たな要素は出てきていない。そのためお互いの話し合いで答えを出すのは厳しいと思う。旭小と南小の場合も、決め方について合意をされたのだと思う。したがって、内容について2校連絡会での直接の合意が難しいのであれば、いかに決めるべきかを話し合うのが合理的だと北小は思っている。

最終的には2校での考えが重要かとは思いますが、どうするかを全体会で図るということも一つの方法かとは思う。

〈富澤委員〉 2校で合意できるのが一番理想だとは思いますが、少し難しいのではないかという印象である。どちらも方針が決まらない分だけ難しい。逆を返せば、双方ともどちらでもよいとの考えとも取れるように思うが、そういうことではないのか。北小は、北小でも西小でもいいよとか、西小は、西小でも北小でもいいよとか。そういう風な2校連絡会での内容になってきているのか。

〈村山委員〉 譲り合いの気持ちが大事なのはわかるが、やはり北小は北小を残したいという思いがあり、代表の立場としては厳しい。ただ、なんらかの方法で結論が出た時には納得せざるを得ないとは常に思っている。では譲れるかといわれると、立場的に難しい。

〈高野委員〉 お互いに問題点を出し合って、譲り合える、譲り合えないという議論はしていないのか。

〈村山委員〉 結論が出せるような突出した要素がない。

〈佐々木委員〉 統合場所の最終的な決定方法について、議論をされたことはないのか。どういうことを話し合ったのかがわからないから、最終的な決定方法についての協議をされたなら、2校で決めようよという話になっているのかがわからない。2校連絡会の話し合い内容を知りたい。

〈木俣委員〉 決め方の内容は、おいおい話し合っていきたい。

〈神谷氏〉 長年協議してきて初めて決着が着いたのが南小と旭小である。南小はなくなる学校としての立場として言わせてもらおうと、西小と北小の話し合いは、村山委員からもあったように、お互いの良さもわかっているし、自分たちの子どもを通わせている学校の良さもわかっている。お互い話し合っている、自分たちの学校の良さを知っているだけに、自分の方に新しい学校を建てたほうがいいと思っている。だから、双方で話し合っても決着はつかないと思う。たとえ譲っていいと思っている、PTA代表の立場では言えない。だから、南小と旭小は、お互い短い時間で説明をして、どちらの学校の特色を選ぶかという決定を全体会に委ねたわけである。本来願っていたのは、皆さんでもっと協議していただいて、こういう理由だからこちらの学校を選んだという答えがほしかった。全体会のなかで活発な協議の時間がなかったのが残念だった。投票結果だけが示された様に感じてしまう。なぜ、結果に結びついたのかについて、戻って保護者に説明できないことも多かった。6月に教育委員会と説明会を行うまで、保護者からの電話や手紙がたくさん寄せられた。説明できることは対応したし、旭小は教室数が多いことで、今後の学習環境がよくなることを説明はしているが、実際それでどういう風によくなるのかということまで説明できなかった。

現在の場所から学校がなくなる方のPTA役員は大変である。すべての保護者の代表として、言いたくないことも言わなければいけない。それを両校の役員だけで決めるのは難しい。

現状子どもが問題なく学校生活を送れているので、どちらの学校もよいと思う。学校としてのプラスアルファでどういう特色を選ぶのか、どういうものがあるからこちらの学校にしていこうということを地域の皆さんで、千城台に残す学校として、こういう特色がある学校を残す方がいいのではないかということ、皆さんで話し合ってもらった方がいいと思う。方向性をつけた上で、両方の学校の保護者の立場を聞いて、こういう問題点があるとか話し合う時間を持つべきだと思う。旭小の教室の多さで、

こういう使い方ができるよとかアレンジの方法もアイデアを出してもらったり、写真をみせてもらったりして、いい学校になるよという説明をしている。それを実際保護者にも確認してもらいたいという思いがある。小さな要望でも聞いていきたい。実際に旭小を見学させてもらって、今まではどちらの学校にするのかということだったが、今度は、この学校に自分たちの子どもが通うんだという目線で見てもらって、その上で、どういうところが気になるとか、ここがもっとよくなるといいという話し合いを吸い上げて、設計の段階で意見を出していこうという考えでいる。

2校で結論を出すのは、荷が重いので、皆さんで審議した方がいい。

投票という決定方法をとるならば、そういった状況もあるということを念頭においた方がよい。

〈佐々木委員〉 投票での結果理由を示すのは難しいのではないかな。言葉にしてあらわす理由を一つずつあげていても、たいして変わらない。方向性を2校で決めるのか、全体会で決めるのか。

〈村山委員〉 投票という方法も含めて、お互いに話し合って結論を出すべきだと思う。

〈木俣委員〉 前回の南小と旭小の全員投票の結果について、大差がついて決したと感じており、そういう決め方もどうなのかなとも思う。

〈片岡委員〉 このままでは結論がでないと思う。数で決めるというのも難しい部分もあるが、いずれにしても南小と旭小がこういった決着方法をとって、皆さんが納得した上での決着方法だったと思う。それはそれでよかったのだと思う。そうでなければ、また結論が先送りになったのではないかなと思う。今年度中に結論は出したいという思いはあるようなので、方向を決してもらいたい。

〈菅原議長〉 今年度中に結論を出したいという話もあったが、2校連絡会で決めるのか、南小・旭小のように全体会で決めるのか。

〈角田会長〉 南小と旭小の際には、2校連絡会での話し合い結果で、協議会（全体会）に一任することとした。

西小と北小もどちらの方向に行くのか、協議の内容が見えないとの委員の意見もあったということも踏まえ、次回2校連絡会において、2つの内容が見える話し合いの場をもって欲しいが、どうか。

〈片岡委員〉 相互交流で実態把握はやってると思うが、今後の交流の見通しはどのようなものか。

〈木俣委員〉 演奏会等の学校行事をやっている。

〈事務局〉 交流については、校外学習の目的地を合わせる等、両校の教頭先生や教務主任を中心に学校で調整を行っている。

〈佐々木委員〉 資料を見ると、西小と北小のスケジュールは最終的な統合校への移転が1年早い。今後、中学校の統合の議論になった場合に、1年ずれると統合を2回経験する子どもがでてくることが生じるので、来年度のこの時期に要望書を出せば、2校で統合新設校の設置時期が合わせられるので、年内に一生懸命話し合ってもらって、2校で結論が出ない場合には、協議会で決定するという選択方法として検討するのはどうか。千城台地区の将来のためには、2校同時がよいと思う。よって、スケジュールを決めて結論を出して欲しい。今は2校連絡会の結論を尊重しようとなっているが、中学校の統合議論を見据え、統合時期を揃えるために、今年度中に2校で合意ができない場合は、全体会でプレゼンをするなりして、決定を委ねるというのはどうか。

〈村山委員〉 現時点では2校連絡会の意向を尊重してくれていると思うが、逆に全体会で方向性を

可決できるものなら、その意向に従うという考え方もあると思う。今年度第1回目の今回では可決はできないが、次回の全体会でそういった（案）として諮る可能性について議論するのはよい。去年から説明しているとおり、北小としては、内容について話し合っても、1年間で結論を出すのは困難であると考えている。

〈石原委員〉 北小と西小が2校連絡会を続けていくことは、協議会において確認されている。それを尊重して続けてもらっているのは、いつまでたっても終わらないという話もあった。でも、やるというのだからやってもらおうと以前確認した。それが今、2校連絡会ではやれないのではないかという意見も出ている。2校連絡会として、結論が出ないといっているわけではなくて、そこも含めて、2校連絡会を教育委員会にも入ってもらって開催し、お互い意見を出し合ったけども2校連絡会の意見として両校が平行線をたどっているという話が出るのであれば、再度これまで出されたような方法も検討しなければならないと思う。委員が変わって1年目で、前回2校連絡会を尊重する、交流会を実施する結果をみようといっていたところから、方法を変えようという議論まで少し飛躍している気がするので、そこを両会長に意識してもらい、もう1度話し合いをしてもらったらよいと思う。

〈事務局〉 今の議論や資料3でもあるが、事務局として西小との具体的な話し合いは今後行う予定となっている。北小と西小の2校連絡会は現在計画中の段階なので、話し合いを進めていく中で、内容が具体化していく可能性がある。まずは、話し合いの場を持たせていただき、その上で、全体会に委ねるとか、期限を設けるといった手法について判断を仰いでいただきたいと思うがどうか。

〈菅原議長〉 北小と西小の2校連絡会は継続していくということで確認ができたので、両校で話し合いを継続して欲しい。

議題③ 次回開催日時・場所について

〈菅原議長〉 最後に、次回の開催日時と場所について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 例年の動きに照らすと、今回は9月に分科会として協議会を開催している。分科会には各小中学校のPTAと正副会長が参加する形となる。コンパクトな話し合いの中で原案をまとめ、その後全体会で協議を深める流れである。年度初めであるので、開催日の設定についてのご意見をいただきたいが、これまでは参加委員の都合により、この千城台公民館において水曜日開催を意識してきた。これを引き続き踏襲する形でどうか。併せて、9月27日（水）を分科会として、その後、11～12月に全体会を開催することとしたいが、いかがか。

〈菅原議長〉 事務局からの提案について、意見等はあるか。

〈片岡委員〉 全体会は、当事者ではないと言ったらおかしいが、出席する必要があるのか。会員から求められていることもあり、南自治会としては跡地利用の議論をしたい。33年度以降となると、協議会に出席してもあまり意味がない。

〈角田会長〉 出席する意味の有無ではなく、地域を代表する自治会長として協議会委員に選出されているわけである。

〈菅原議長〉 委員として代表して選出されているので、出席する意味はある。

〈片岡委員〉 地元自治会の会長引き継ぎ事項の中に、統合が決まったら、跡地を何とか活用したいということで聞いているが、跡地利用の検討ができない。

〈角田会長〉 跡地利用については、統合の問題が解決しないと検討できないということが何年も前か

ら確認されている。

- 〈村山委員〉 この協議会は全員の合意がないと、決まらないという原則で進めてきている。片岡委員が欠席により票を放棄してしまうと、決まらない会になってしまう。
- 〈片岡委員〉 そういう方向に行くなら、委員として出席はする。
- 〈阪下委員〉 私たちは地域の学校として、どのように千城台に新しい学校をつくるかを決めるための代表として出席している。自治会の代表であるけれども、千城台にどういう学校を作ろうかと議論するためであり、跡地利用だけを議論するわけではない。南小・旭小だけではなく、西小・北小についても全委員で知恵を出し合っていくのがこの会だと思う。
- 〈菅原議長〉 地元代表協議会の一委員としてよろしくお願いしたい。次回以降、水曜日中心で開催日を設定する方向でよい。
- 〈委員一同〉 異議なし。
- 〈事務局〉 今回は9月27日（水）に分科会として、11～12月にかけて全体会として開催するという事で再度提案させていただくが、いかがか。
- 〈中島委員〉 分科会開催後に全体会を開催するのであれば、全体会にどのように諮るのかということを出してもらわないと、分科会で話をしましただけでは意味がない。分科会では、全体会に何をあげるかについて明確にすることをお願いしたい。
- 〈村山委員〉 分科会は議事録をとると思うが、2校連絡会は議事録なしで自由に話し合うことを目的としている。
- 〈富澤委員〉 自由に話し合うのは結構であるが、その中で決まったことや進展したことが全体会に伝わってこない。
- 〈村山委員〉 2校連絡会のすべてを報告するとなると、議事録をとらない方針の意味がないので難しい。なるべく報告はする。
- 〈中島委員〉 分科会や2校連絡会を続けていくうち、旭小と南小が決まっているとはいいながらも、33年で全体として同じように進めないと、千城台の学校がどうあるべきということとずれてしまう。そのうち、やっている間に後戻りしてしまうことが懸念される。決まったことに対して、全体を合わせていかないといけない。
- 〈菅原議長〉 いろいろな意見が出されたが、それを踏まえて統合の議論を進めていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。提案の日程でよい。
- 〈委員一同〉 異議なし。

（４）連 絡

- ・本日協議会の状況については、各所属団体への伝達と意見集約をお願いする。
- ・後日議事録要旨（案）を送付させていただき、確認終了後にホームページで公開する。
- ・委員名簿はホームページに公開することで確認をさせていただいた。
- ・今後欠席や遅刻等が見込まれる場合の対応について、事務局への連絡をお願いする。代理出席という手法もあるのでご承知おきいただきたい。
- ・今回は9月27日（水）に18時30分から、今回と同じ場所で分科会を開催する。その後の見通しについては、11～12月に全体会を開催することとしたいので、ご協力をお願いしたい。

〈委員一同〉 質問等なし。

（５）会長挨拶（角田会長）

千城台地区の統合については8年かかっているわけであるが、それだけ決めるのが大変だという

ことを改めて皆さんにもお分かりいただけたと思う。2校連絡会での話し合いが見えないという意見もあったが、話し合いの結果が見えないということで会議を進める上で支障が出る部分もあると思う。たとえば、2校連絡会の内容について、全体会開催の前に、議事録なしで説明をしてもらうのも一つの手法だと思う。

佐々木委員からの発言や、跡地活用についても考えていかないといけないかもしれない。また、これからの2校連絡会の報告に関してもいろいろな意見が出ると思うが、今後もよろしくお願いしたい。